

Wyse Converter for PCs

バージョン 2.1 MR (Maintenance Release) 1 管理者ガイド



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 Wyse Converter for PCs の概要	5
サポートマトリックス.....	5
2 インストール方法	6
サイレントインストール用のパラメータ.....	6
Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件.....	7
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール.....	7
ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール.....	8
3 アップグレード方法	10
SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード.....	10
ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード.....	11
Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード.....	12
4 操作を始める	13
Wyse Software Thin Client にログインする.....	13
Wyse Software Thin Client を設定する前に.....	13
統合書き込みフィルター.....	14
Dell Write Filter.....	16
NetXClean ユーティリティ.....	19
C-A-D ツール.....	20
Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録.....	20
5 Wyse Software Thin Client の設定	23
VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続.....	23
Citrix Receiver セッションサービスの設定.....	24
リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定.....	25
Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定.....	25
RAM ディスクのサイズの設定.....	26
書き込みフィルターのステータスに基づいた動的な RAM ディスク設定.....	26
ページファイル.....	26
6 Wyse Easy Setup の概要	28
主な機能.....	28
7 Wyse Easy Setup のサポートマトリックス	29
8 Wyse Easy Setup へのアクセス	30
9 Wyse Easy Setup の設定	31
接続とアプリケーションの設定.....	31
ユーザー設定.....	32

ユーザーインターフェースの設定.....	32
10 Wyse Easy Setup 設定の導入.....	35
Wyse Easy Setup 管理 UI を使用した設定の導入.....	35
Wyse Management Suite を使用した設定の導入.....	35
11 Wyse Easy Setup のヒントとベストプラクティス.....	36
12 Wyse Converter for PCs ライセンス.....	37
Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード.....	37
13 アンインストール方法.....	39
Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする.....	39
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	39
サードパーティの Windows 7 用管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	40
Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	42
Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする.....	42
14 Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング.....	44
.....	46

Wyse Converter for PCs の概要

Wyse Converter for PCs は、Windows PC で Thin Client のようなエクスペリエンスを実現するスタンドアロンソフトウェアです。Wyse Converter for PCs は、VDI セッションに接続するために安全でシームレスなインタフェースを提供します。

Wyse Converter for PCs をインストールした後で、デバイスは Wyse Software Thin Client とみなされます。Wyse Management Suite 1.3 以降のバージョンを使用して、デバイスを管理することができます。

Wyse Converter for PCs は、ハードウェア上の既存の Windows オペレーティングシステムを利用します。カスタマイズは行いますが、オペレーティングシステムを置き換えることはありません。より安全なユーザーエクスペリエンスを実現するため、既存の Windows オペレーティングシステムのロックダウンのみを行います。

① **メモ:** システム上の既存の スタートメニューのショートカットとデスクトップショートカットがインストール中に削除されますが、アンインストール後にショートカットを復元できます。

サポートマトリックス

Wyse Converter for PCs および Wyse Easy Setup は、次のオペレーティングシステムでサポートされています。

表 1. サポートマトリックス

サポートされているオペレーティングシステム	バージョン	対応言語
Windows 10 Enterprise 64 ビット	すべてのバージョン	<ul style="list-style-type: none"> • 英語 (米国) • 英語 (インド) • 英語 (英国) • オランダ語 • ドイツ語 • フランス語 (フランス) • フランス語 (カナダ) • イタリア語 • スペイン語 • 日本語 • 韓国語 • 中国語 (簡体字) • 中国語 (繁体字) • ポルトガル語 (ブラジル) • ロシア語
Windows 10 Enterprise LTSC 64 ビット	すべてのバージョン	
Windows 10 Enterprise LTSC 64 ビット	すべてのバージョン	
Windows 10 Education 64 ビット	すべてのバージョン	
Windows 10 Professional 64 ビット	すべてのバージョン	
Windows 7 Enterprise 64 ビット	サービスパック 1 6.1.7601	
Windows 7 Enterprise 32 ビット	サービスパック 1 6.1.7601	
Windows 7 Professional 64 ビット	サービスパック 1 6.1.7601	
Windows 7 Professional 32 ビット	サービスパック 1 6.1.7601	

① **メモ:** 上の表にリストされている言語以外、Wyse Converter for PCs インストーラと Wyse Easy Setup (シェルおよび管理 UI) はすべて英語 (米国) 版です。

インストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をインストールできます。

- Microsoft System Center Configuration Manager などのサードパーティの管理ソフトウェアからのリモートまたはサイレントインストール - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」を参照してください。
- お使いの PC 上へのローカルインストール - 「[ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs インストーラによって次の変更が適用されます。

- WyseAdmin と WyseUser の 2 つのユーザー アカウントが新規に作成され、管理者ではない既存のアカウントは無効になります。
- NetXClean ユーティリティがインストールされ、ローカルストレージから不要な情報が取り除かれます。
- ユーザーでのコントロール設定機能が制限されます。
- Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を管理するように Wyse Device Agent がインストールされます。
- インストーラによって PC にインストールできるアプリケーションは次のとおりです。
 - Wyse Device Agent バージョン 14.3.0.66
 - TightVNC バージョン 2.6.4
 - Wyse Easy Setup 1.2.1
 - Dell Write Filter
- Dell Thin Client アプリケーション、CAD マップツール、および RAMDisk アプリケーションがインストールされます。RAMDiskSize アプリケーションは、WriteFilter のステータスに基づいて RAM ディスクサイズを変更します。
- Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムが実行されているシステムでは、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) がインストールされます。
- Windows 7 オペレーティングシステムが実行されているシステムでは、Dell Write Filter がインストールされます。
- Dell Thin Client には、壁紙、デスクトップのテーマ、ユーザーアカウントの Dell ロゴなどのカスタマイズが追加されます。
- Citrix Receiver と VMware Horizon Client が PC にインストールされている場合、Wyse Converter for PCs により、それぞれの接続ブローカーに対してシンクライアントのカスタマイズが加えられます。

① メモ:

- 管理者アカウントとローカル管理者グループの一部であるユーザーアカウントは Wyse Converter for PCs によって無効化されません。
- Wyse Converter for PCs によってインストールされたアプリケーションのいずれかをアップデートした場合、Wyse Converter for PCs をアンインストールしてもこれらのアプリケーションはアンインストールされません。

トピック :

- [サイレントインストール用のパラメータ](#)
- [Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件](#)
- [サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)
- [ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)

サイレントインストール用のパラメータ

次の表では、サイレントインストールのために使用するパラメータについて説明しています。

表 2. サイレントインストール用のパラメータ

名前	構文	説明
install	/install	ユーザーインターフェースおよびプロンプトを表示せずにインストーラを実行します。
adminpassword	/adminpassword:	管理者アカウントのパスワードを設定します。
userpassword	/userpassword:	ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
app	/app:	指定したアプリケーションをインストールします。
tightvnc	tightvnc	お使いのシステムに TightVNC をインストールします。
Wyse Easy Setup	Wyseeasysetup	システムに Wyse Easy Setup をインストールします。

① | **メモ:** 正しくないパラメータを入力すると、インストーラが停止します。

Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件

Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- Windows QFE およびドライバが最新バージョンにアップデートされている。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされている。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin ではない。
- 少なくとも 4 GB のディスク容量が利用可能である。
- 統合書き込みフィルターが無効になっている - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当。
- アンチウイルスを無効にする。
- Windows のセキュアブートを無効にする。

① | **メモ:** Wyse Converter for PCs は仮想マシン上にインストールすることはできません。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して同時に複数のデバイスに Wyse Converter for PCs をインストールできます。

SCCM を使用して Wyse Converter for PCs をサイレントインストールする場合は、次の手順を実行します。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **ソフトウェアライブラリ > 概要 > アプリケーション管理 > アプリケーション** の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。

- 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 9 **全般** ページで、**展開の種類の情報を手動で指定する** をクリックします。
- 10 **次へ** をクリックします。
- 11 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
- 13 **インストールプログラム** フィールドにパラメータ `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` を入力し、管理者パスワード、ユーザーパスワード、およびインストールするアプリケーションを指定します。
例 : `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:tightvnc:wyseeasysetup`

パラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。
- 14 **検出方法** ページで、次のオプションを選択します。
 - **設定の種類** ドロップダウンメニューから **レジストリ** を選択します。
 - レジストリキーを `hklm\software\wnt` と入力します。
 - **値** に `Build` と入力します。
 - **データタイプ** ドロップダウンメニューから **文字列** を選択します。
 - レジストリルールを設定するには、**レジストリ設定が次の規則を満たす必要がある** をオンにします。
 - **演算子** ドロップダウンメニューから、**次の値と等しい** を選択します。
 - **値** フィールドに、`<ビルドバージョン>` を入力します。たとえば、`9122` と入力します。
- 15 **次へ** をクリックします。
- 16 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
- 17 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
- 18 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
- 19 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
- 20 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
- 21 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
- 22 **概要** ページに、設定の概要が表示されます。
- 23 **閉じる** をクリックします。
- 24 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager でのコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。
- 25 ターゲットクライアントにアプリケーションを展開します。アプリケーションを展開するには、technet.microsoft.com の「*How to Deploy Applications in Configuration Manager*」(Configuration Manager でアプリケーションを展開する方法) を参照してください。

ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール

このタスクについて

ローカルデバイス上でサイレントインストールを実行するには、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` と入力します。

例 : `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:tightvnc:wyseeasysetup`

サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。

手順

- 1 インストーラパッケージをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。

2 **はい** をクリックします。

インストーラは、インストールの前提要件を検証します。

3 インストールの前提要件が満たされている場合は、**OK** をクリックします。

ようこそ 画面が表示されます。

4 **Dell エンドユーザーライセンス契約** を読み、**次へ** をクリックします。

① **メモ:** Dell エンドユーザーライセンス契約を表示するには、PDF 用のリーダーが必要です。

5 インストールする **セットアップタイプ** を選択し、**次へ** をクリックします。利用できるオプションは次のとおりです。

- **標準** : セットアップタイプに **標準** を選択した場合は、**標準インストール** 画面が表示されます。画面には、Wyse Converter for PCs インストーラによってインストールされるプログラム機能が一覧表示されます。

① **メモ:** 標準インストールでは、最小限のユーザー操作が必要で、すべての標準的なプログラム機能がインストールされます。

- **カスタム** : セットアップタイプとして [**カスタム**] を選択すると、[**カスタム インストール**] 画面が表示され、次のアプリケーションをシステムにインストールできます。
 - Wyse Device Agent : デフォルトでインストールされています
 - TightVNC
 - Wyse Easy Setup

① **メモ:**

- カスタムインストールでは、最大限のユーザー操作が必要で、インストールするプログラム機能を選択できます。このインストールは上級ユーザーにお勧めします。
- インストール手順を開始する前にすでに PC にアプリケーションがインストールされている場合は、Wyse Converter for PCs によって再インストールされません。

6 **次へ** をクリックします。

ユーザーアカウントの追加 画面が表示されます。

7 管理者のデフォルトパスワードおよびユーザーアカウントを変更する場合は、**デフォルトのパスワードを使用** チェックボックスをクリアします。デフォルトの管理者およびユーザーパスワードは DellCCCVdi です。

① **メモ:**

- デフォルトの管理者ユーザー名と標準のユーザー名を変更することはできません。
- デフォルトのパスワードは、ターゲットデバイスがドメインに属している場合には適用されないため、パスワードの複雑さが有効になります。
- パスワードに \ / ' , ~ : ; * ? " & ^ などの特殊文字が含まれていないことを確認します。

8 **次へ** をクリックして、ソフトウェアをインストールします。

インストールの進行状況とともに **インストール** 画面が表示されます。

9 インストールが完了したら、今すぐ **再起動** をクリックします。

システムが再起動し、WyseAdmin アカウントに自動的にログインします。

インストーラにより、WyseAdmin と WyseUser アカウントのロックダウンのスクリプトが実行され、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

インストーラがインストールを完了するには、約 25 分かかります。

① **メモ:**

- Windows 10 Enterprise デバイスにインストールした後で、書き込みフィルターはデフォルトで有効になります。同様に、Windows 7 デバイスにインストールした後、Dell Write Filter はデフォルトで有効になります。
- インストールを完了するために、システムは 2 回再起動し、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

アップグレード方法

Wyse Converter for PCs のアップグレードは、次のいずれかの方法で行います。

- SCCM を使用したリモートアップグレード -「[SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)」を参照してください
- PC でのローカルアップグレード -「[ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)」を参照してください
- Wyse Management Suite を使用したリモートアップグレード -「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)」を参照してください

① **メモ:** Wyse Converter for PCs をバージョン 1.0、1.0.1、1.1、2.0 からバージョン 2.1 MR1 にアップグレードするには、Wyse Management Suite 1.3 を使用する必要があります。ただし、最新の WDA バージョン 14.3.0.66 をインストールする必要があります。

トピック：

- [SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)
- [ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)
- [Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)

SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード

前提条件

- Wyse Converter for PCs 1.0、1.0.1、1.1、2.0 のいずれかがインストールされていることを確認します。
- Windows QFE とドライバの最新バージョンがインストールされていることを確認します。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされていることを確認します。
- 統合書き込みフィルターが無効になっていることを確認します。Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムにのみ該当します。
- Dell Write Filter が無効になっていることを確認します。Windows 7 オペレーティングシステムにのみ該当します。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin でないことを確認します。
- 少なくとも 4 GB のディスク容量が利用可能であることを確認します。
- アンチウイルスが無効になっていることを確認します。
- Windows Secure Boot が無効になっていることを確認します。
- 管理者としてログインしていることを確認します。

手順

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **ソフトウェアライブラリ概要アプリケーション管理アプリケーション** の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。

- 9 **全般** ページで、**展開の種類**の情報を手動で指定する をクリックします。
- 10 **次へ** をクリックします。
- 11 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
- 13 **インストールプログラム** フィールドに、パラメータ WyseConverterforPCs.exe /install を入力します。
- 14 **検出方法** ページで、次のオプションを選択します。
 - **設定の種類** ドロップダウンメニューから **レジストリ** を選択します。
 - レジストリキーを hklm\software\wnt と入力します。
 - **値** に Build と入力します。
 - **データタイプ** ドロップダウンメニューから **文字列** を選択します。
 - レジストリルールを設定するには、**レジストリ設定が次の規則を満たす必要がある** をオンにします。
 - **演算子** ドロップダウンメニューから、**次の値と等しい** を選択します。
 - **値** フィールドに、<ビルドバージョン> を入力します。たとえば、9122 と入力します。
- 15 **次へ** をクリックします。
- 16 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
- 17 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
- 18 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
- 19 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
- 20 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
- 21 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
- 22 **概要** ページに、設定の概要が表示されます。
- 23 **閉じる** をクリックします。
- 24 コンテンツを導入に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager」(Configuration Manager でのコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。
- 25 ターゲットクライアントにアプリケーションを展開します。アプリケーションを展開するには、technet.microsoft.com の「How to Deploy Applications in Configuration Manager」(Configuration Manager でアプリケーションを展開する方法) を参照してください。

ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード

前提条件

- Wyse Converter for PCs 1.0、1.0.1、1.1、2.0 のいずれかがインストールされていることを確認します。
- Windows QFE とドライバの最新バージョンがインストールされていることを確認します。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされていることを確認します。
- 統合書き込みフィルターが無効になっていることを確認します。Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムにのみ該当します。
- Dell Write Filter が無効になっていることを確認します。Windows 7 オペレーティングシステムにのみ該当します。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin でないことを確認します。
- 少なくとも 4 GB のディスク容量が利用可能であることを確認します。
- アンチウイルスが無効になっていることを確認します。
- Windows Secure Boot が無効になっていることを確認します。
- 管理者としてログインしていることを確認します。

❶ **メモ:** 仮想マシンで、Wyse Converter for PCs のインストールやアップグレードを行うことはできません。

手順

- 1 WyseConverterforPCs.exe インストーラパッケージをダブルクリックします。
- 2 **ユーザーアカウント制御** ウィンドウが表示されます。
- 3 **はい** をクリックします。
インストーラは、インストールの前提要件を検証します。
- 4 インストールの前提要件が満たされている場合は、**次へ** をクリックします。
ようこそ 画面が表示されます。
- 5 Wyse Converter for PCs をアップグレードするには、**Dell エンドユーザー使用許諾契約** を読み、**次へ** をクリックします。
- 6 インストールが完了したら、**今すぐ再起動** をクリックします。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 **アプリとデータ** をクリックします。
- 3 **アプリポリシー** 下で **Wyse Software Thin Client** をクリックします。
- 4 **ポリシーの追加** をクリックします。
標準アプリポリシーの追加 ウィンドウが表示されます。
- 5 **標準アプリポリシーの追加** ウィンドウで、次の操作を行います。
 - **グループ** ドロップダウンメニューから、Wyse Software Thin Client の登録先のグループを選択します。
 - **タスク** ドロップダウンメニューから、**アプリケーションのインストール** を選択します。
 - **OS タイプ** ドロップダウンメニューから、**Wyse Software Thin Client** を選択します。
 - **アプリケーション** ドロップダウンメニューから **WyseConverterForPCs.exe** を選択します。
 - インストールパラメータに `/install` を指定します。
- 6 **保存** をクリックします。
- 7 **ジョブ** ページに移動し、Wyse Converter for PCs のサイレントインストールを開始するようにジョブをスケジュールします。

操作を始める

WyseUser または WyseAdmin として Wyse Software Thin Client にログインできます。

Wyse Software Thin Client を使用して操作を始めるには、以下を参照してください。

- Wyse Software Thin Client にログインする - 「[Wyse Software Thin Client にログインする](#)」を参照してください。
- Wyse Software Thin Client を設定する前に - 「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。

トピック：

- [Wyse Software Thin Client にログインする](#)
- [Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)

Wyse Software Thin Client にログインする

Wyse Software Thin Client がオンになっているか再起動されたときに表示される内容は、管理者の設定により異なります。ユーザーアカウントの作成後、管理者は、自動的にログインできるように、またはユーザー資格情報を使用して手動でログインできるようにアカウントを設定できます。

Wyse Software Thin Client を起動すると、デフォルトで WyseUser デスクトップに自動的にログインします。

Windows 10 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー** > **ユーザー** > **サインアウト** の順にクリックして、現在のデスクトップからログオフします。
- 2 ロック画面上の任意の場所をクリックすると、**ログオン** ウィンドウが表示されます。
- 3 画面の左下には、ユーザーアカウントのリストを表示できます。希望のユーザーアカウントをクリックして、ログオン資格情報を入力します。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時に ログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 および 手順 3 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Windows 7 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー** > **ログオフ** の順にクリックして、ログイン ウィンドウが表示されるまで、Shift キーを押しながら現在のデスクトップからログオフします。
- 2 次のオプションのいずれかを使用してログインします。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時に ログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Wyse Software Thin Client を設定する前に

書き込みフィルターユーティリティは Wyse Software Thin Client を保護することを意図しています。プリンター、モニター、その他の周辺機器などの特定のプロファイル設定を保持する場合は、明示的に宣言したプロファイルを消去しないように NetXClean を設定する必要があります。また、ディスクへの望ましくない書き込みを防止し、不要な情報をクリーンアップしてローカルディスクに格納されないようにもします。C-A-D ツールを使用すると、管理者は、VDI

アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

Wyse Management Suite では、Wyse Software Thin Client を集中的に設定、監視、管理、および最適化することができます。Wyse Software Thin Client をリモートで管理するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

ただし、Wyse Software Thin Client をログアウトして再起動した後で、変更した設定を管理者が保持することができるインスタンスがあります。

Wyse Software Thin Client を設定する前に、以下を参照してください。

- [統合書き込みフィルターの使用](#)
- [Dell Write Filter の使用](#)
- [NetXClean ユーティリティについて](#)
- [C-A-D ツールの理解](#)
- [Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)

統合書き込みフィルター

統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) は、Windows 10 Enterprise デバイス上のストレージメディアを保護するセクタベースの書き込みフィルターです。UWF は、保護対象ボリュームへの書き込み試行をすべて傍受し、それらを仮想オーバーレイにリダイレクトします。これにより、デバイスの信頼性と安定性が向上し、さらにシステムに対する未承認の変更が破棄されるためシステムのセキュリティが向上します。UWF では、オーバーレイは、基盤となる保護対象ボリュームに加えた変更を保存する仮想ストレージ領域です。ファイルシステムが保護対象セクタを変更しようと試みる場合は必ず、代わりに UWF が保護対象ボリュームのセクタをオーバーレイにコピーして、セクタの代わりにオーバーレイを変更します。アプリケーションがセクタからの読み取りを試行すると、UWF はセクタの代わりにオーバーレイのデータを返します。そのため、ボリュームは変更されず、システムはボリュームに書き込むという動作を見た目上維持できます。

△ 注意: 常に適切な書き込みフィルターを使用し、Windows ページファイルの使用法の指示に従ってください。当該の指示にはたとえば、通常の使用時には必ず書き込みフィルターを有効にしておき、イメージのアップグレード、セキュリティパッチの適用、レジストリの変更、アプリケーションのインストールが必要な場合にのみ、管理者が一時的にフィルターを無効にする、などの指示が含まれています。こうしたタスクが完了したら直ちに、書き込みフィルターを再度有効にする必要があります。その他の指示としては、シンクライアントの通常使用時は、Windows ページファイル機能を決して有効にしないことなどの指示があります。通常の使用時に書き込みフィルタをオフにしたり、Windows ページファイルを有効にしたりして、Dell Wyse Windows Embedded Thin Client の操作を行うと、フラッシュ/SSD ストレージの消耗が早まり、パフォーマンスが低下して、製品の寿命が縮まります。デルは、これらの指示に従わなかったために適切に動作しなくなった、いかなるシンクライアントデバイスまたはコンポーネントに対しても、保証、サポート、修理、または交換の責任を負いません。

詳細については、technet.microsoft.com で統合書き込みフィルターのマニュアルを参照してください。

Microsoft UWF は、オーバーレイをすべて RAM (RAM ベース) に格納するか、またはシステムボリューム (ディスクベース) に事前に割り当てられたファイルにオーバーレイを格納するように設定できます。ディスクベースのオーバーレイでは、UWF はシステムボリュームに作成され事前に割り当てられたファイルを使用して、オーバーレイの使用可能容量を増やします。PC ではより多くのディスク領域が利用可能であるため、Wyse Converter for PCs 2.x は、システム ボリューム (ディスクベース) の事前に割り当てられたファイルにオーバーレイを保存するように UWF を設定して、次の表のようにサイズを設定します。

表 3. UWF ディスクオーバーレイのサイズ

ディスクサイズ	UWF ディスクオーバーレイ
10 GB 以下	2 GB
10 GB 以上	4 GB
25 GB 以上	8 GB

統合書き込みフィルターの使用

このタスクについて

UWF を使用するように Wyse Software Thin Client を設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 WyseAdmin としてログインします。
ユーザーのデスクトップへの自動ログオンが有効になっている場合は、ユーザーのデスクトップからログオフして、管理者としてログインします。
- 2 統合書き込みフィルターを無効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF 無効** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを無効にしてシステムを再起動します。
- 3 Wyse Software Thin Client を要件に応じて設定します。
- 4 Wyse Software Thin Client の設定後、統合書き込みフィルターを有効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF 有効** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを有効にしてシステムを再起動します。これで、Wyse Software Thin Client 上の設定が保存され、Thin Client の再起動後も維持されるようになります。

次の手順

システムが起動した後、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) が自動的に起動します。

保護されているボリューム上の特定のファイルまたはフォルダをファイル除外リストに追加して、これらのファイルおよびフォルダが Dell Wyse Unified Write Control ツールを使用して UWF によってフィルターされないようにすることができます。このツールにアクセスするには、システムトレイの統合書き込みフィルターアイコンをクリックします。ファイルまたはフォルダがボリュームの除外リストにある場合、そのファイルやフォルダへのすべての書き込みが UWF フィルタリングをバイパスし、保護されたボリュームに直接書き込まれ、デバイスの再起動後も維持されます。

実行時にファイルまたはフォルダの除外を追加または削除するには、管理者としてログインする必要があります。また、新しい除外が有効になるようにデバイスを再起動する必要があります。

書き込みフィルターコントロールの設定

UWF コントロールの設定を表示および管理するには、**統合書き込みフィルターコントロール** ダイアログボックスを使用します。ダイアログボックスを開くには、管理者タスクバーのタスクトレイにある UWF アイコンをダブルクリックします。

UWF コントロール設定時には、一部のフィールドが使用不可になっています。設定中に使用可能なフィールドのリストから選択することができます。

Dell Wyse 統合書き込みフィルターコントロール ダイアログボックスには以下が含まれます。

• UWF Status

- **Current Status** - 統合書き込みフィルターのステータスを示します。ステータスは、有効または無効のいずれかです。
- **Boot Command** - 起動コマンドのステータスを示します。UWF_ENABLE は UWF が次のセッションでは有効になっていることを意味し、UWF_DISABLE は次のセッションでは UWF が無効になっていることを意味します。
- **Overlay used by UWF** - メガバイト (MB) と割合で、統合書き込みフィルターに割り当てられているオーバーレイの量を示します。**Current Status** が無効になっている場合、UWF に割り当てられるオーバーレイは常にゼロ (0) です。
- **Amount of overlay used for UWF Cache** - 現在のセッションで統合書き込みフィルターキャッシュに割り当てられているオーバーレイの量をメガバイト (MB) 単位で示します。
- **Warning #1 (%)** - 現在のセッションでメモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。
- **Warning #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。

- **UWF Cache Settings**

- **Amount of overlay to be used for UWF Cache** - 次のセッションで統合書き込みフィルターキャッシュとして使用されるオーバーレイの量を MB 単位で示します。この値は 256 MB ~ 2048 MB の範囲内である必要があります。この値が使用可能なオーバーレイの 50 % を超えていないことを、必要以上に確認されます。

- **UWF Warning Settings**

- **Warning #1 (%)** - メモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています (デフォルト値 = 80、最小値 = 50、最大値 = 80)。
- **Warning #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。メモリのレベルが警告レベル 2 を超えると、システムが自動的に再起動します (デフォルト値 = 90、最小値 = 55、最大値 = 90)。

- **Enable UWF** - 統合書き込みフィルターを有効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルターを有効にするためにシステムが再起動した後、デスクトップの通知領域にある統合書き込みフィルターのステータスアイコンが緑色に変わります。

- **Disable UWF** - 統合書き込みフィルターを無効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルターを無効にした後は、デスクトップの通知領域にある統合書き込みフィルターのステータスアイコンが赤色に変わり、システムの再起動後も無効のままになります。

- **Defaults** - UWF キャッシュ設定 領域、および UWF 警告設定 領域をリセットしてデフォルト値に設定します。

- **File Commit**

- **File Path** - 基盤となるメディアに対してファイルの追加、削除およびコミットを行えます。システムは Wyse Software Thin Client デバイスを再起動しません。変更はただちにコミットされます。

① | **メモ:** ファイルがコミットされていない場合は、リストからファイルパスを削除します。

- **Current Session Exclusion List**

- **File/Directory Path** -

次のセッションに対する、除外リストへのファイルやフォルダの追加と削除が行えます。現在のセッションの除外リストと表示されているペインに列挙されているファイルやディレクトリは、現在のセッションでの更新内容が維持されます。次のセッションの除外リストと表示されるペインに列挙されるファイルやディレクトリは、次のセッションにて更新された内容が維持される対象です。システムは Wyse Software Thin Client を再起動せず、管理者が Wyse Software Thin Client デバイスを手動で再起動するまで変更はコミットされません。

UWF オーバーレイが RAM からディスクに変更され、オーバーレイサイズが適切に設定されます。UWF オーバーレイは、ソフトウェア定義のシンククライアントのアップタイムを改善するために、ディスクオーバーレイに設定されています。

ページファイルを有効にする - MS UWF は、オーバーレイが設定されている書き込み保護ディスクのページファイル設定をサポートしていません。ページファイルに対応するために、ページファイルが設定されている場合には保護されていない追加のボリュームが作成されます。

① | **メモ:** Windows 10 Pro では、統合書き込みフィルターと Dell Write Filter はサポートされていません。

Dell Write Filter

Dell Write Filter (DWF/FBWF) は、Windows 7 デスクトップオペレーティングシステム上のストレージメディアを保護するファイルベースの書き込みフィルターです。DWF は、保護対象ボリュームへの書き込み試行をすべてインターセプトして、オーバーレイにリダイレクトします。オーバーレイは、同じボリューム上のフォルダに格納されます。オーバーレイのサイズは、ボリュームで使用できる空き容量によって決まります。除外リストは、ファイルとフォルダに対してサポートされます。

DWF により、デバイスの信頼性と安定性が向上し、さらにシステムに対する未承認の変更が破棄されるためシステムのセキュリティが向上します。DWF のオーバーレイとは、対象となる保護対象ボリュームに加えた変更を保存するための仮想ストレージ領域です。ファイルシステムがオーバーレイ内の保護対象ファイルを変更しようとするたび、代わりに DWF が保護対象ボリュームのファイルをオーバーレイにコピーして、コピーした方のファイルを変更します。アプリケーションがファイルの読み取る場合は、DWF がオーバーレイのデータを返します。保護対象ボリューム内のファイルは変更されません。

Dell Write Filter の使用

手順

- 1 WyseAdmin としてログインします。
ユーザーのデスクトップへの自動ログインが有効になっている場合は、ユーザーのデスクトップからログオフして、管理者としてログインします。
- 2 Dell Write Filter を無効にするには、デスクトップの **DWF Disable** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを無効にしてシステムを再起動します。
- 3 Wyse Software Thin Client を要件に応じて設定します。
- 4 Wyse Software Thin Client の設定後、Dell Write Filter を有効にするには、デスクトップの **DWF Enable** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを有効にしてシステムを再起動します。これで、Wyse Software Thin Client 上の設定が保存され、Thin Client の再起動後も設定が変更されることはありません。

次の手順

システムの起動後、Dell Write Filter (DWF) が自動的に起動します。

保護対象ボリューム上の特定のファイルまたはフォルダをファイル除外リストに追加すると、Dell Wyse Write Control ツールを使用して DWF によってフィルタリングされないようにすることができます。このツールにアクセスするには、システムトレイの Dell Write Filter アイコンをクリックします。ファイルまたはフォルダが保護対象ボリュームの除外リストにある場合、そのファイルやフォルダへのすべての書き込みが DWF フィルタリングをバイパスし、保護対象ボリュームに直接書き込まれ、デバイスの再起動後も維持されます。

実行時にファイルまたはフォルダの除外を追加または削除するには、管理者としてログインする必要があります。また、新しい除外が有効になるようにデバイスを再起動する必要があります。

① | **メモ:** ファイルコミットは、Dell Write Filter ではサポートされていません。

Dell Write Filter コントロールの設定

DWF コントロールの設定を表示および管理するには、**Dell Write Filter Control** ダイアログボックスを使用します。ダイアログボックスを開くには、管理者タスクバーのタスクトレイにある DWF アイコンをダブルクリックします。

DWF Control 設定時には、一部のフィールドが使用不可になっています。設定中に使用可能なフィールドのリストから選択することができます。

Dell Write Filter Control ダイアログボックスは、次の項目で構成されます。

• DWF Status

- **Current Status** - ファイルベースの書き込みフィルターのステータスを示します。ステータスは、有効または無効のいずれかです。
- **Boot Command** - 起動コマンドのステータスを示します。DWF_ENABLE は DWF が次のセッションでは有効になっていることを意味し、DWF_DISABLE は次のセッションでは DWF が無効になっていることを意味します。
- **Overlay used by DWF** - メガバイト (MB) と割合で、ファイルベースの書き込みフィルターに割り当てられているオーバーレイの量を示します。**Current Status** が無効になっている場合、DWF に割り当てられるオーバーレイは常にゼロ (0) です。
- **Amount of overlay used for DWF Cach** - 現在のセッションでファイルベースの書き込みフィルターキャッシュに割り当てられているオーバーレイの量をメガバイト (MB) で示します。
- **Warning #1 (%)** - 現在のセッションでメモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される DWF キャッシュの割合値を示しています。
- **Warning #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される DWF キャッシュの割合値を示しています。

• DWF Cache Settings

- **Amount of overlay to be used for DWF Cache** - 次のセッションでファイルベースの書き込みフィルターキャッシュとして使用されるオーバーレイの量を MB 単位で示します。この値は 256 MB ~ 32 GB の範囲内である必要があります。この値が使用可能なオーバーレイの 50 % を超えていないことを、必要以上に確認されます。

• DWF Warning Settings

- **Warning #1 (%)** - メモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される DWF キャッシュの割合値を示しています (デフォルト値 = 80、最小値 = 50、最大値 = 80)。
- **Warning #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される DWF キャッシュの割合値を示しています。メモリのレベルが警告レベル 2 を超えると、システムが自動的に再起動します (デフォルト値 = 90、最小値 = 55、最大値 = 90)。
- **Enable DWF** - ファイルベースの書き込みフィルターを有効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスの再起動を要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。ファイルベースの書き込みフィルターを有効にするためにシステムが再起動した後、デスクトップの通知領域にあるファイルベースの書き込みフィルターのステータスアイコンが緑色に変わります。
- **Disable DWF** - ファイルベースの書き込みフィルターを無効にできます。Wyse Software Thin Client の再起動を要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。ファイルベースの書き込みフィルターを無効にした後は、デスクトップの通知領域にあるファイルベースの書き込みフィルターのステータスアイコンが赤色に変わり、システムの再起動後も無効のままになります。
- **Defaults** - DWF キャッシュ設定 領域、DWF 警告設定 領域をリセットしてデフォルト値に設定します。
- **Current Session Exclusion List**
 - **File/Directory Path** - 次のセッションに対する、除外リストへのファイルやディレクトリの追加と削除が行えます。現在のセッションの除外リストと表示されているペインに列挙されているファイルやディレクトリは、現在のセッションでの更新内容が維持されます。次のセッションの除外リストと表示されるペインに列挙されるファイルやディレクトリは、次のセッションにて更新された内容が維持される対象です。システムは Wyse Software Thin Client を再起動せず、管理者が Wyse Software Thin Client デバイスを手動で再起動するまで変更はコミットされません。

 **メモ:** Dell Write Filter は、レジストリフィルタリングをサポートしていません。

Dell Write Filter コマンドラインユーティリティ

Dell Write Filter Manager (dwfmgr.exe) コマンドラインユーティリティはクエリに使用できます。また、書き込みフィルターの設定およびパラメータを設定できます。次のコマンドがサポートされています。

表 4. Dell Write Filter コマンド

Dell Write Filter コマンド	タスク
Dwfmgr.exe /displayconfig	設定を表示します。
Dwfmgr.exe /get-current-session-status	現在の書き込みフィルターのステータスに関する情報を表示します。
Dwfmgr.exe /get-next-session-status	次のセッションの書き込みフィルターのステータスに関する情報を表示します。
Dwfmgr.exe /enable	書き込みフィルターを有効にします。
Dwfmgr.exe /disable	書き込みフィルターを無効にします。
Dwfmgr.exe /addexclusion [file_path **]	ファイル除外を追加します
Dwfmgr.exe /removeexclusion [file_path **]	ファイル除外を削除します
Dwfmgr.exe /get - current -session-exclusions	現在のセッションの書き込みフィルターの除外に関する情報を表示します。
Dwfmgr.exe /get-next-session-exclusions	次のセッションの書き込みフィルターの除外に関する情報を表示します。
Dwfmgr.exe /get-overlay-folder	書き込みフィルターのディスクオーバーレイフォルダについての情報を表示します。
Dwfmgr.exe /get-overlay-config-size	書き込みフィルターのオーバーレイの最大構成サイズに関する情報を表示します。

Wyse Management Suite を介して次のバッチスクリプトを使用して、Dell Write Filter を有効または無効にすることができます。

表 5. Dell Write Filter 用のバッチスクリプト

タスク	バッチスクリプト
Dell Write Filter を有効にする	<pre>@echo off cd C:\Program Files\Wyse\DWF start dwfmgr.exe /enable exit</pre>
Dell Write Filter を無効にする	<pre>@echo off cd C:\Program Files\Wyse\DWF start dwfmgr.exe /disable exit</pre>

NetXClean ユーティリティ

NetXClean ユーティリティ：NetXClean は、不要な情報をローカルディスクに格納しないようにするクリーンアップユーティリティです。複数ユーザーがシステムへのログオン権限を保有している場合、ディスクスペースはローカルに格納されたプロファイルによって使用されます。NetXClean を使用して、情報の一時的なキャッシュに使用されるディレクトリの自動クリーンアップを実行できます。クリーンアップはサービスの起動またはユーザーのログオフのいずれかで実行されます。クリーンアップはユーザーの目に見えず、完全に設定可能です。

NetXClean は Windows ユーティリティであり、サービスとして実行されます。また、設定ファイルを使用して、消去するディレクトリとファイルと消去しないプロファイルを判断するスタンドアロンユーティリティです。このユーティリティは以下を実行するように設定できます。

- 任意の数のディレクトリとその内容を削除
- 任意の数のディレクトリの内容だけを削除
- 明示的に宣言した任意の数のファイルを削除
- ワイルド文字ファイル名に一致する、任意の数のファイルを削除
- いずれかのプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の明示的に宣言したプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の最近使用したプロファイルを消去しないようにする
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するディレクトリのクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するファイルクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するプロファイルクリーンアップを実行する

NetXClean では、次のディレクトリ、またはこれらのディレクトリの親ディレクトリはクリーンアップしません。

- Windows ディレクトリ
- Windows システムのディレクトリ
- サービスがインストールされている現在のディレクトリ

NetXClean は以下のプロファイルを消去しません。

- 管理者
- skinnynt
- totalcontrol

- Default_User
- Default_user
- 前回ログオンしたユーザーのプロファイル

① メモ:

- NetXClean の消去する項目は、メーカーによって選択されているため、無断で変更しないでください。
- NetXClean ユーティリティには、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) との依存関係はありません。

複数のユーザープロファイルを対象とする NetXClean ユーティリティのワークフロー

NetXClean ユーティリティは、システムで複数のユーザープロファイルを設定した場合にユーザープロファイルをクリーンアップするのに役立ちます。これは、ユーザープロファイルへのログインまたはログオフを行う場合に適用されます。標準的なユーザーシナリオは次のとおりです。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 C:\Windows\System32\netxclean.ini に、NetXClean ユーティリティで実行させるプロファイル固有の値を指定します。

これらの値は、ログオフし、ユーザープロファイルにログインした後に NetXClean ユーティリティによって認識されます。

システムの再起動またはハード再起動を実行する場合、ユーザープロファイルに対する NetXClean ユーティリティ機能は再起動後は適用されないため、プロファイル固有の値は認識されません。

詳細については、「[Dell Knowledge Base](#)」(Dell ナレッジベース) を参照してください。

C-A-D ツール

C-A-D ツールを使用すると、管理者は VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

以下に、C-A-D ツールでサポートされる各種の VDI アプリケーション用にマップされているキーを示します。

- Citrix - Ctrl+F1
- VMware - Ctrl+Alt+Insert
- RDP - Ctrl+Alt+End

① メモ: C-A-D ツールは、Citrix セッションの Virtual Apps and Desktops では機能せず、Citrix 仮想アプリでのみ機能します。

C-A-D ツールは、デフォルトで無効に設定されています。C-A-D ツールを有効にするには、次の操作を行います。

- 1 WyseAdmin としてログインします。
- 2 [**Dell Thin Client アプリケーション**] をダブルクリックします。
- 3 [**CAD マップ**] をクリックします。
- 4 [**有効化**] チェック ボックスをオンにして、[**適用**] をクリックします。

Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録

次のいずれかの方法を使用して、Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録します。

- デバイスで Wyse Device Agent (WDA) によって提供されるユーザーインターフェースを介して手動で登録します。
- DNS サーバで適切な DNS SRV レコードを設定して、自動的に登録します。

- DHCP サーバで適切なオプションタグを設定して、自動的に登録します。

Wyse Device Agent のユーザーインターフェースを介した Wyse Software Thin Client の登録

前提条件

Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録するためにグループを作成します。Wyse Device Agent のユーザーインターフェースを介して Wyse Software Thin Client を登録するには、次の操作を行います。

手順

- 1 Wyse Software Thin Client で、**Wyse Device Agent (WDA)** アプリケーションを開きます。
Wyse Device Agent ウィンドウが表示されます。
- 2 **Management Server** ドロップダウンリストから、**Wyse Management Suite** を選択します。
- 3 サーバアドレスとポート番号をそれぞれのフィールドに入力します。
- 4 グループトークンを入力します。シングルテナントについては、グループトークンはオプションの手順です。
- 5 **Register** をクリックします。

登録が完了した後、「Registered to Wyse Management Suite」というメッセージが表示されます。

DNS SRV レコードを使用した Wyse Software Thin Client の登録

DNS SRV レコードのフィールドに有効な値が設定されている場合は、Wyse Management Suite サーバにデバイスを登録することができます。次の表に、DNS SRV レコードの有効な値を示します。

表 6. DNS SRV レコードの使用によるデバイスの設定

URL/ タグ	説明
<p>レコード名 - <code>_WMS_MGMT</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_MGMT._tcp.<ドメイン名></code></p> <p>レコードタイプ - SRV</p>	<p>このレコードは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、<code>wmserver.acme.com:443</code> であれば、<code>wmserver.acme.com</code> は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。</p> <p>① メモ: サーバの URL で <code>https://</code> を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。</p>
<p>レコード名 - <code>_WMS_MQTT</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_MQTT._tcp.<ドメイン名></code></p> <p>レコードタイプ - SRV</p>	<p>このレコードは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) にポイントします。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : <code>wmservername.domain.com:1883</code>。</p> <p>① メモ: MQTT は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。</p> <p>デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。</p> <p>US1 - us1-pns.wysemanagementsuite.com</p> <p>EU1 - eu1-pns.wysemanagementsuite.com</p>
<p>レコード名 - <code>_WMS_CAVVALIDATION</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_CAVVALIDATION._tcp.<ドメイン名></code></p>	<p>プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このレコードは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションレコードを追加しないでください。</p>

URL/ タグ	説明
レコードタイプ - テキスト	<p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p> <p>① メモ: CA 検証は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。</p>

DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

以下の DHCP オプションタグを使用して、デバイスを登録できます。

表 7. DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

オプションタグ	説明
<p>名前 - WMS</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 165</p> <p>説明 - WMS サーバ FQDN</p>	<p>このタグは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、wmsserver.acme.com:443 であれば、wmsserver.acme.com は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。</p> <p>① メモ: サーバの URL で https:// を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。</p>
<p>名前 - MQTT</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 166</p> <p>説明 - MQTT サーバ</p>	<p>このタグは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) にポイントします。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : wmsservername.domain.com:1883。</p> <p>デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。</p> <p>US1 - us1-pns.wysemanagementsuite.com</p> <p>EU1 - eu1-pns.wysemanagementsuite.com</p>
<p>名前 - CA VALIDATION</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 167</p> <p>説明 - 認証局の検証</p>	<p>プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このタグは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションタグを追加しないでください。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p>

Wyse Software Thin Client の設定

次の設定については、以下のセクションで説明されています。

- VMware Horizon Client の設定。「[VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続](#)」を参照してください。
- Citrix Receiver の設定。「[Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- リモートデスクトップ接続の設定。「[リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite を使用した設定。「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)」を参照してください。
- RAM ディスクのサイズの設定。「[RAM ディスクのサイズの設定](#)」を参照してください。
- Wyse Easy Setup の設定。「[Wyse Easy Setup](#)」を参照してください。

① **メモ:** Citrix Receiver と VMware Horizon Client は、デフォルトでは Wyse Software Thin Client にインストールされていません。管理者は、Wyse Converter for PCs のインストールの前後いつでも、Citrix Receiver と VMware Horizon Client をインストールして設定できます。

トピック :

- [VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続](#)
- [Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)
- [リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)
- [Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)
- [RAM ディスクのサイズの設定](#)
- [書き込みフィルターのステータスに基づいた動的な RAM ディスク設定](#)
- [ページファイル](#)

VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続

VMware Horizon Client はローカルにインストールされるソフトウェアアプリケーションであり、View Connection Server と Thin Client オペレーティングシステム間の通信を実行します。Thin Client から一元的にホストされる仮想デスクトップへのアクセスを提供します。VMware セッションサービスは、VMware Horizon 6 以降をインストールした後に、ネットワーク上で使用可能な状態にできます。このサービスは、エンドユーザーに対して単一のプラットフォームを介して、仮想化 / ホストされたデスクトップおよびアプリケーションを提供します。仮想デスクトップに接続するには、**VMware Horizon Client** ウィンドウを使用します。

このタスクについて

VMware Horizon Client ウィンドウを開いて使用するには、次の手順を実行します。

手順

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 次のいずれかのオプションを使用して、**VMware Horizon Client** ウィンドウにアクセスします。
 - **スタート** メニューで、**VMware > VMware Horizon Client** の順にクリックします。
 - デスクトップで **VMware Horizon Client** アイコンをダブルクリックします。

VMware Horizon Client ウィンドウが表示されます。

- 3 **VMware Horizon Client** ウィンドウでは、次のガイドラインを使用します。
 - a 新しいサーバ接続を追加するには、**VMware Horizon Client** ウィンドウで **新規サーバ** オプションをクリックするか、**サーバの追加** アイコンをダブルクリックします。

VMware Horizon Client ダイアログボックスが表示されます。

- b **VMware Horizon Client** ダイアログボックスで、接続サーバのボックスに VMware Horizon Connection Server のホスト名または IP アドレスを入力します。
 - c **接続** をクリックします。
 - d **ログイン** ダイアログボックスで、ユーザー名とログインパスワードをそれぞれのボックスに入力します。
 - e **ドメイン** ドロップダウンリストから、サーバが所属するドメインを選択します。
 - f **ログイン** をクリックします。
- VMware Horizon Client が、選択したデスクトップに接続します。接続の確立後、公開されているデスクトップのリストが表示されます。
- g 特定のアプリケーションまたはデスクトップのアイコンを右クリックしてから、**起動** をクリックして選択したアプリケーションまたはデスクトップに接続します。

VMware Horizon Client の詳細については、www.vmware.com を参照してください。

① メモ:

証明書確認モード - 証明書確認モードでは、サーバへの接続が安全であることをクライアントが確認できない場合に、クライアントがどのような処理を行うべきかが決定されます。システム管理者の指示がない限り、この設定は変更しないことをお勧めします。

証明書確認モードにアクセスするには、ウィンドウの右上隅にあるアイコンをクリックし、ドロップダウンリストから **SSL を構成** をクリックします。**VMware Horizon Client SSL 構成** ダイアログボックスで、必要に応じて次のいずれかのオプションを選択します。

- 信頼されていないサーバに接続しません
- 信頼されていないサーバに接続する前に、警告を表示します
- サーバ ID 証明書を確認しません

Citrix Receiver セッションサービスの設定

Citrix Receiver は、ユーザーインターフェースからアプリケーションロジックを分離する、サーバベースのコンピューティングテクノロジーです。Thin Client デバイスにインストールされた Citrix Receiver クライアントソフトウェアを使用すると、すべてのアプリケーションプロセスがサーバ上で実行されているが、ローカルアプリケーション GUI にて対話できます。

このタスクについて

Citrix Receiver セッションを設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 管理者としてログインします。
- 2 次の方法のいずれかを使用して Citrix サーバにアクセスします。
 - **スタート** メニューで、**Citrix Receiver** をクリックします。
 - デスクトップで **Citrix Receiver** アイコンをダブルクリックします。

Citrix サーバへのログイン後、**アカウントの追加** ウィンドウが表示されます。

- 3 **アカウントの追加** ウィンドウで、サーバ IP アドレスを入力します。
- 4 **追加** をクリックします。
 - セキュアな接続には、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。
 - 非セキュアな接続には、IP アドレスを入力します。
- 5 ユーザーの資格情報を入力し、**ログオン** をクリックします。

IP アドレスを入力することでアカウントの追加が可能になり、Citrix Receiver の詳細を表示することができます。
- 6 **はい** をクリックしてから **次へ** をクリックします。

Citrix Receiver の仮想デスクトップが表示されます。
- 7 仮想デスクトップウィンドウで、**Add Apps (+)** (**アプリケーションの追加 (+)**) > **All Applications (すべてのアプリケーション)** の順に移動します。

アプリケーションのチェックボックスをオンまたはオフにすることができます。選択したアプリケーションが仮想デスクトップに表示されます。
- 8 仮想デスクトップで、**Settings (設定)** をクリックして、サーバのアカウントを更新、追加または削除して、ログオフします。

リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定

このタスクについて

リモートデスクトップ接続とは、別のコンピューターにネットワーク接続するグラフィカル インターフェイスのためのネットワーク プロトコルです。このセクションでは、リモートデスクトップ接続セッション サービスを設定する手順について説明します。

手順

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 [**スタート**] メニューで、[**リモートデスクトップ接続**] をクリックするか、またはデスクトップの [**リモートデスクトップ接続**] アイコンをダブルクリックします。
[**リモートデスクトップ接続**] ウィンドウが表示されます。
- 3 [**コンピューター**] ボックスに、コンピューター名またはドメイン名を入力します。
- 4 詳細設定オプションを表示するには、[**オプションの表示**] をクリックします。
 - a [**全般**] タブでは、ログイン資格情報の入力、既存の RDP 接続の編集または開始、新規の RDP 接続ファイルの保存などを行えます。
 - b [**画面**] タブでは、リモートデスクトップの画面設定と画面の色を管理します。
 - スライダーを動かして、リモートデスクトップのサイズを拡大または縮小します。全画面表示するには、スライダーを右方向いっぱいに動かします。
 - ドロップダウンリストから、リモートデスクトップの画面の色を希望に応じて選択します。
 - [**全画面表示の使用時に接続バーを表示する**] チェック ボックスをオンまたはオフにして、全画面モードで接続バーを表示または非表示にします。
 - c [**ローカル リソース**] タブで、リモートデスクトップのオーディオ、キーボード、またはローカル デバイス/リソースの設定を行います。
 - [**リモート オーディオ**] セクションで、[**設定**] をクリックして詳細なオーディオ設定オプションを選択します。
 - [**キーボード**] セクションで、キーボードの組み合わせを適用する場合と場所を選択します。
 - [**ローカル デバイスとリソース**] セクションでは、リモート セッションで使用するデバイスとリソースを選択します。その他のオプションについては、[**詳細**] をクリックします。
 - d [**エクスペリエンス**] タブで、接続品質に基づいてリモート セッションのパフォーマンスを最適化します。
- 5 [**接続**] をクリックします。
- 6 リモートセッションに接続するには、[**セキュリティ**] ダイアログ ボックスにログイン資格情報を入力します。
リモートデスクトップが表示され、[**接続バーを表示する**] を選択した場合は上部に接続バーが表示されます。

① メモ:

統合書き込みフィルターのキャッシュがいっぱいである場合、ウィンドウの [**オプションの表示**] をクリックしてから [**エクスペリエンス**] タブのビットマップ キャッシングを無効にできます。

- e [**詳細設定**] タブで、サーバーが認証に失敗した場合に実行するアクションを選択し、リモート ゲートウェイを経由する接続の設定を行います。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定

Wyse Converter for PCs を使用してデバイスが Wyse Software Thin Client に変換される場合は、Wyse Management Suite 1.3 以降のバージョンを使用して Thin Client を設定できます。Wyse Software Thin Client を設定するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 ダッシュボードの **グループ & 設定** をクリックします。
- 3 グループを選択し、**ポリシーの編集** をクリックします。

- 4 **Wyse Software Thin Client** をクリックします。

Wyse Software Thin Client ページが表示されます。

- 5 オプションの設定後、**保存して公開** をクリックします。

Wyse Software Thin Client の登録と Wyse Management Suite を使用したポリシーの設定の詳細については、dell.com/support/manuals にある『Wyse Management Suite 1.3 and later version Administrator's Guide』(Wyse Management Suite 1.3 以降管理者ガイド) を参照してください。

RAM ディスクのサイズの設定

このタスクについて

RAM ディスクは、一時的なデータの保存場所として使用される揮発性メモリです。

RAM ディスクには通常、次の項目が保存されます。

- ブラウザの Web ページのキャッシュ
- ブラウザ履歴
- ブラウザの Cookie
- ブラウザのキャッシュ
- インターネット一時ファイル
- 印刷スプール
- ユーザーおよびシステムの一時ファイル

RAM ディスクのサイズを設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 管理者としてログインします。
- 2 **スタート > Dell Thin Client Application** の順に移動します。
Dell Thin Client Application ウィンドウが表示されます。
- 3 左のナビゲーションバーで、**RAM Disk** をクリックします。
- 4 **RAM disk size** フィールドで、設定する RAM ディスクのサイズを入力または選択し、**Apply** をクリックします。
RAM ディスクのサイズを変更した場合、変更を有効にするにはシステムを再起動するよう求められます。

①メモ:

情報を永久的に保存するには、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) を無効にしてください。詳細については、「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。

書き込みフィルターのステータスに基づいた動的な RAM ディスク設定

RAMDiskSize アプリケーションは、書き込みフィルターのステータスに基づいて RAM ディスクのサイズを監視し、決定します。書き込みフィルターをオンにすると、RAM ディスクのサイズは 100 MB に設定されます。システム RAM が 4 GB 未満で、書き込みフィルターがオフになっている場合、RAM ディスクのサイズは 100 MB に設定され、system temp は C:\Windows\Temp にリダイレクトされます。Windows 7 32 ビットオペレーティングシステムでは、4 GB の RAM SKU のみをサポートしています。4 GB 以上に設定されているシステム RAM は、4 GB としてのみ見なされます。システム RAM が 4 GB 以上の場合は、RAM ディスクのサイズは 2 GB に設定されます。

ページファイル

ページファイルは、ランダムアクセスメモリ (RAM) のデータの RAM の拡張として使用されるハードディスクの予約部分です。

Wyse Converter for PCs 2.x では、サイズ 2 GB の別ボリュームがページファイル用に作成されます。統合書き込みフィルターのオーバーレイはディスクに構成され、Microsoft は書き込み保護ボリュームのページファイルをサポートしていません。ページファイルは、Wyse Converter for PCs 2.x の新規インス

インストール時またはアップグレード時に、別のボリューム(ドライブ)上に作成されます。ページファイルの設定はすべて保持され、Wyse Converter for PCs 2.x のアンインストール後に復元されます。ページファイルは、システムのパフォーマンスを向上させるために、Dell Write Filter と Microsoft 統合書き込みフィルターの両方をサポートしています。同様に、Dell Write Filter では、ディスクオーバーレイ上のページファイルはサポートされません。

ページファイル用の別のボリュームは、次の基本的な基準に基づいて作成されます。

- 使用可能なディスクサイズは、合計 RAM ディスクサイズの 75% より大きくする必要があります。
- RAM の合計容量は 8 GB 未満にする必要があります。
- 縮小可能ボリュームが使用可能である必要があります。

基本的な基準が満たされていない場合は、ページファイルドライブが作成されません。また、Windows 10 Pro では Microsoft の書き込みフィルターが使用できないために、Windows 10 Pro にはページファイルドライブが作成されません。

Wyse Easy Setup の概要

Wyse Easy Setup を使用すると、Wyse Converter for PC を搭載したデバイスにすばやく簡単に設定を導入できます。Wyse Easy Setup は、Wyse Converter for PCs 2.x と一緒にインストールされます。

Wyse Easy Setup で実現可能なシナリオ例

- Internet Explorer の設定項目を設定して、専用のブラウザフォーカスクライアントを作成します。
- Citrix、VMware、リモートデスクトッププロトコル (RDP) などの複数のプロトコル接続を設定します。
- 特定アプリケーション専用アプライアンスとしてデバイスを構成します。

キオスクモードを設定して Windows デバイスをロックダウンし、ユーザーがキオスクモード以外のデバイスの機能にアクセスできないようにすることができます。キオスクインタフェースをカスタマイズして、特定の設定へのユーザーアクセスを有効または無効にすることもできます。

① メモ:

- Wyse Easy Setup は、Wyse Converter for PCs 2.x のバンドル パッケージとして機能します。
- Wyse Easy Setup を使用した Wyse Software Thin Client の設定は、WyseUser アカウントにのみ適用されます。この機能は、キオスクモードではドメインアカウントでサポートされません。

主な機能

Wyse Easy Setup の主な機能は次のとおりです。

- Wyse Easy Setup シェルをカスタマイズして、ユーザーのエクスペリエンスを制御および特化するためのプロビジョニング。ユーザーは、そのシェルの外部では、デバイスの機能またはファンクションにアクセスできないようになります。
- コントロールパネルへのアクセスを制限
- 仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) とアプリケーションを起動するためのインタフェース。
- カスタムアプリケーションを追加して起動するためのプロビジョニング。
- カスタマイズした Wyse Easy Setup シェルに OEM のカスタム背景とロゴを追加するためのプロビジョニング。
- VDI 接続およびアプリケーションを終了するときに、アプリケーションの動作を制御するなどのカスタム機能をサポート。
- カスタムシェルタスクバーと **スタート** メニュー
- Wyse Easy Setup 管理者アプリケーションを使用して、接続およびアプリケーションと WyseEasyShell 設定を設定するためのインタフェース。
- ローカル管理者のユーザーインタフェースまたは Wyse Management Suite を使用して、カスタムデスクトップを設定するためのプロビジョニング。
- Wyse Management Suite を使用した Wyse Easy Setup 設定で、Wyse Easy Setup シェルに複数の言語キーボードを選択するためのプロビジョニング。
- スマートカードのサポート
- 管理者ユーザーインタフェースおよび Wyse Easy Setup シェルの多言語サポート
- [**Wyse ディスプレイ**] ウィンドウを使用して、複数のディスプレイ設定を設定するためのプロビジョニング。

① **メモ:** シン クライアントを再起動すると、Wyse Management Suite を使用して導入されたディスプレイ設定が、ローカルのディスプレイ設定よりも優先されます。

- [**ヘルプを許可する**] オプションが管理者ユーザー インターフェイスに追加され、ユーザーの [**スタート**] メニューの [**ヘルプ**] オプションを有効化/無効化することができます。

Wyse Easy Setup のサポートマトリックス

次の表は、Wyse Easy Setup でサポートされているオペレーティングシステムおよび Dell Wyse シンクライアント、接続タイプ、アプリケーションの一覧です。

表 8. サポートマトリックス

エンティティ	サポートリスト
Wyse Converter for PCs の対応オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット、サービスパック 1 以降 • Microsoft Windows 10 Enterprise、64 ビット • Microsoft Windows 10 Professional、64 ビット
対応言語 - 管理者ユーザーインターフェイスと Wyse Easy Setup シェル	<ul style="list-style-type: none"> • 英語 • イタリア語 • フランス語 • ドイツ語 • スペイン語 • 中国語（簡体字） • 中国語（繁体字） • カナダフランス語 • 韓国語 • ブラジリアンポルトガル語 • 日本語
接続タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • リモートデスクトッププロトコル • Citrix 接続 • VMware Horizon View 接続
カスタムアプリケーション - デフォルト	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer • 電卓 • メモ帳
アプリケーション	<p>オペレーティングシステムでサポートされている従来のデスクトップアプリケーションはすべて、Wyse Easy Setup と互換性があります。</p> <p>Wyse Easy Setup は、Windows Store アプリケーションをサポートしていません。</p>

Wyse Easy Setup へのアクセス

Wyse Easy Setup には、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- 管理者アカウントを使用する場合：
 - a 管理者としてログインします。
 - b **スタート WyseWyseEasySetupAdmin** に移動します。
- ユーザーアカウントを使用する場合：
 - a ユーザーとしてログインします。
 - b **スタート WyseWyseEasySetupAdmin** に移動します。

ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。

- c 管理者パスワードを入力し、**はい** をクリックします。

① | メモ: Windows 7 オペレーティングシステムで実行されるデバイスに Wyse Easy Setup シェルを設定するには、スタート > すべてのプログラム > Wyse > WyseEasySetupAdmin に移動し、ユーザー名とパスワードを入力します。

- キオスクモードで Wyse Easy Setup ユーザーシェルを使用する場合：
 - a **管理アクセス** が有効になっている場合は、**スタート管理アクセス** に移動します。
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
 - b 管理者パスワードを入力し、**はい** をクリックします。

Wyse Easy Setup の設定

Wyse Easy Setup の設定は、次のいずれかの方法で行えます。

- Wyse Management Suite 1.3 以降のバージョン
- ローカル管理者のユーザーインターフェイス

① **メモ:** Wyse Easy Setup を設定するには、書き込みフィルターを有効にする必要があります (Windows 10 Professional オペレーティングシステムには適用されません)。

Wyse Easy Setup の設定には、次のタスクが含まれます。

- 接続とアプリケーションの設定 - 「[接続とアプリケーションの設定](#)」を参照してください。
- ユーザーの設定 - 「[ユーザー設定](#)」を参照してください。
- ユーザーインターフェイスの設定 - 「[ユーザーインターフェイスの設定](#)」を参照してください。

Wyse Management Suite 1.3 以降のバージョンを使用して、Wyse Easy Setup を設定することもできます。詳細については、www.support.dell.com/manuals にある Wyse Management Suite の管理者ガイドを参照してください。

① **メモ:** デバイスが Wyse Management Suite に登録されている場合は、Wyse Easy Setup 管理者ユーザーインターフェイスが無効になります。

トピック :

- [接続とアプリケーションの設定](#)
- [ユーザー設定](#)
- [ユーザーインターフェイスの設定](#)

接続とアプリケーションの設定

このタスクについて

Wyse Easy Setup の **接続とアプリケーション** セクションでは、ユーザーの接続とアプリケーションを追加して設定することができます。

手順

- 1 **接続とアプリケーション** セクションの + アイコンをクリックします。
追加可能なアプリケーション / 接続 ダイアログボックスが表示されます。

デフォルトで次のオプションが使用可能です。

- RDP
- Citrix
- VMware Horizon View
- ブラウザ
- 電卓
- メモ帳

① **メモ:** アプリケーションを手動で追加するには、アプリケーションを参照し、インポート をクリックします。

- 2 追加して設定するアプリケーションまたは接続をクリックします。
- 3 **保存** をクリックします。

設定されているアプリケーションまたは接続が **接続とアプリケーション** セクションに表示されます。

4 **適用** をクリックします。

① **メモ:** Wyse Easy Setup シェルでは、最大 18 の接続とアプリケーションを追加することができます。

ユーザー設定

ユーザー設定 セクションでは、ユーザーのシステム固有の設定を行うことができます。このセクションには次のオプションがあります。

表 9. システム

オプション	説明
地域 / 言語	ユーザーが、コントロールパネルの地域と言語のオプションにアクセスできるようになります。
日付と時刻	ユーザーが、コントロールパネルの日付と時刻のオプションにアクセスできるようになります。
ディスプレイ	ユーザーが、コントロールパネルのディスプレイオプションにアクセスできるようになります。
Wi-Fi	ユーザーが、コントロールパネルのネットワークオプションにアクセスできるようになります。
サウンド	ユーザーが、コントロールパネルのサウンドオプションにアクセスできるようになります。
簡単操作	ユーザーが、コントロールパネルの簡単操作のオプションにアクセスできるようになります。

表 10. 周辺機器

オプション	説明
マウス	ユーザーが、コントロールパネルのマウスのオプションにアクセスできるようになります。
キーボード	ユーザーが、コントロールパネルのキーボードのオプションにアクセスできるようになります。

ユーザーインターフェースの設定

ユーザーインターフェース セクションでは、タスクバーと **スタート** メニューを設定できます。ユーザーシェルの背景とロゴをカスタマイズすることもできます。**ユーザーインターフェース** セクションには、次のオプションがあります。

表 11. キオスクモード

オプション	説明
Kiosk モードの表示	キオスクモードが有効になっている場合は、Wyse Easy Setup シェルが表示され、デスクトップとタスクバーのような従来の Windows インタフェースにユーザーがアクセスできなくなります。 ① メモ: キオスクモードが無効になっている場合は、RDP、Citrix、VMware Horizon View の接続設定が Windows のデスクトップに表示されます。
終了操作 - アプリケーション	ユーザーがアプリケーションを終了するときに実行するアクションを選択できます。

オプション	説明
	<p>① メモ: 終了操作 は、キオスクモードを表示 が有効で、アプリケーションまたは接続が1つだけ設定されている場合に限り有効です。</p>
スマートカードの取り外し	<p>スマートカードを取り外したときに、実行するアクションを選択できます。</p> <p>① メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> このオプションは、キオスクモードを表示 が有効な場合に限り有効です。 デバイスをロック解除に設定したままの状態ですmartカードを取り外すと、ユーザーはクライアントデスクトップからログオフされます。

表 12. カスタマイズ

オプション	説明
バックグラウンド	<p>ユーザーが、カスタマイズされた背景を設定できるようになります。カスタマイズされた背景を設定するには 変更 をクリックし、必要な背景を選択します。背景を一切表示しない場合は、<Will be added in the next draft> でイメージを選択します。</p>
ロゴ	<p>デフォルトのデルのロゴの代わりに、カスタマイズしたロゴを追加できるようになりました。</p> <p>背景にカスタマイズされたロゴを設定するには 変更 をクリックし、ローカルドライブの必要なロゴを参照します。ロゴを表示しない場合は、<ドライブ C>\Program Files\Wyse\WyseEasySetup\Help\Images\NoLogo.png でイメージを選択します。</p>

表 13. タスクバー

オプション	説明
日付と時刻	<p>ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップの日付と時刻のオプションを設定できるようになります。</p>
サウンド	<p>ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップのサウンドパラメータを設定できるようになります。</p>
ネットワークステータス	<p>ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップのネットワークオプションを表示できるようになります。</p>
タッチキーボード	<p>ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップのタッチキーボードを表示できるようになります。</p>
キーボードレイアウト	<p>Wyse Easy Setup シェルで複数の言語キーボードを選択できるようになりました。Wyse Easy Setup シェルの コントロールパネル で、複数の言語キーボードを選択できます。</p>

表 14. スタートメニュー

オプション	説明
管理モード	ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップの管理者モードにアクセスできるようになります。
シャットダウンを許可	ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップでシステムをシャットダウンできるようになります。
再起動を許可	ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップでシステムを再起動できるようになります。
ログオフを許可	ユーザーが、Wyse Easy Setup シェルまたはカスタムデスクトップでシステムをログオフできるようになります。

Wyse Easy Setup 設定の導入

複数のデバイスに設定を導入するには、次の 2 つの方法があります。

- Wyse Easy Setup 管理者 UI を使用する方法
- Wyse Management Suite を使用する方法

トピック：

- [Wyse Easy Setup 管理 UI を使用した設定の導入](#)
- [Wyse Management Suite を使用した設定の導入](#)

Wyse Easy Setup 管理 UI を使用した設定の導入

前提条件

設定を導入する前に、デバイスが Wyse Management Suite に登録されていないことを確認してください。デバイスが Wyse Management Suite に登録されていると、Wyse Easy Setup 管理者ユーザーインターフェイスが無効になり、エラーメッセージが表示されます。

手順

- 1 WyseEasySetupAdmin で設定を行う場合は、「[Wyse Easy Setup の設定](#)」を参照してください。
- 2 エクスポートアイコンをクリックします。
- 3 ローカルドライブまたは共有の場所に設定を設定ファイルまたは JSON ファイルとして保存します。
- 4 設定ファイルをターゲットデバイスにコピーします。
- 5 WyseEasySetupAdmin を起動します。「[Wyse Easy Setup へのアクセス](#)」を参照してください。
- 6 インポートアイコンをクリックしてから、**適用** をクリックします。
設定が、ターゲットデバイスに導入されます。

Wyse Management Suite を使用した設定の導入

前提条件

設定を導入する前に、デバイスが Wyse Management Suite に登録されていることを確認してください。

手順

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 **グループ & 設定** をクリックします。
- 3 グループを選択し、**ポリシーの編集** をクリックします。
- 4 **Wyse Software Thin Client** をクリックします。
- 5 **Wyse Easy Setup** をクリックします。
- 6 オプションの設定後、**保存して公開** をクリックします。

① メモ:

- デバイスが Wyse Management Suite に登録されると、Wyse Easy Setup 管理者シェルを使用して導入されたローカル設定はすべて破棄されます。Wyse Management Suite を使用して導入されたリモート設定が適用されます。
- デバイスが Wyse Management Suite から登録解除されると、Wyse Management Suite を使用して導入された設定は破棄されます。Wyse Easy Setup 管理者シェルを使用して導入されたローカル設定が適用されます。

詳細については、『[Wyse Management Suite 管理者ガイド](#)』を参照してください。

Wyse Easy Setup のヒントとベストプラクティス

このセクションでは、Wyse Easy Setup で効果的に作業するためのベストプラクティスとヒントを紹介します。

- ICA および RDP 接続オプションで使用できる解像度設定は、ターゲットディスプレイを示していません。デルでは、デフォルトのデスクトップ解像度の設定である全画面表示を使用することをお勧めします。
- VMware Horizon View クライアントがインストールされているときに RDP 接続で USB リダイレクトを使用するには、RDP セッションに接続する前に、VMware Horizon View USB サービスを無効にします。
- デルは、Wyse Easy Setup シェルのディスプレイ解像度を 1280 x 800 に設定することをお勧めします。
- 設定ファイルをエクスポートまたはインポートする場合、Wyse Easy Setup の設定中に、フォルダへの読み取りおよび書き込みアクセス権が必要です。
- 設定ファイルの一部として追加したアプリケーションに、許可の制限がないことを確認します。
- ネットワークロケーションまたはローカルでアプリケーションをインポートする場合は、Wyse Easy Setup をリモートで実行できます。
- Wyse Easy Setup シェルの背景にロゴを表示しない場合は、<ドライブ> C:\Program Files\Wyse\WyseEasySetup\Help\Images\NoLogo.png でイメージを選択します。

Wyse Converter for PCs ライセンス

Wyse Converter for PCs には、デフォルトで 45 日間の試用版ライセンスがあります。試用版を使用して、PC を Thin Client のようなエクスペリエンスに変換して、ロックダウン機能をテストし、Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を設定できます。45 日の試用期間は、Wyse Converter for PCs をご使用の PC にインストールした日から開始されます。Wyse Converter for PCs 試用版に登録したときに入力した電子メールを介して、Wyse Converter for PCs および Wyse Management Suite をダウンロードする手順と、ライセンスキーを取得する方法の詳細について提供します。

① **メモ:** 試用期間中は、常時 25 デバイスを登録および管理することができます。

試用期間の終了後：

- Wyse Management Suite サーバを介したアップグレードはできません。
- 管理者は、Wyse Management Suite オンプレミス サーバを使用して、既存のデバイスを引き続き管理できます。
- 新しい Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に追加することはできません。

Wyse Device Agent が Wyse Management Suite サーバと通信した後、アップデートされたライセンス情報がインポートされ、ローカルストアがアップデートされます。

45 日後、Wyse Management Suite ライセンスをインポートまたはアップデートすることにより、Wyse Converter for PCs を使用し続けることができます。「[Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード](#)」を参照してください。

Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード

Wyse Management Suite ライセンスをプライベートクラウドにインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

• 方法 1

- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。
- ポータル管理アカウントサブスクリプションライセンスのインポート** の順に移動します。
- ユーザー名とパスワードを入力します。
- データセンター** ドロップダウンリストから、データセンターを選択します。
- 追加する Wyse Software Thin Client シートまたはデバイス数を入力し、**インポート** をクリックします。

① **メモ:** ライセンスをインポートするには、Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバをパブリッククラウドに接続する必要があります。

• 方法 2

- Wyse Management Suite パブリッククラウドサーバにログインします。
- ポータル管理アカウントサブスクリプションプライベートクラウドのライセンスのエクスポート** の順に移動します。
- エクスポートする Wyse Software Thin Client シートの数を入力します。
- エクスポート** をクリックします。
- 生成されたライセンスをコピーします。
- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。
- ポータル管理アカウントサブスクリプションライセンスのインポート** の順に移動します。
- 生成されたライセンスを入力します。

i **インポート** をクリックします。

① **メモ:** www.wysemanagementsuite.com で Wyse Management Suite の試用版に登録するか、サブスクリプションを購入すると、ログイン資格情報を受け取ります。Wyse Management Suite サブスクリプションは、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーから購入できます。詳細については、www.wysemanagementsuite.com を参照してください。

有効なライセンスを割り当てるには、デバイスを Wyse Management Suite に追加して登録する必要があります。「[Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)」を参照してください。

パブリッククラウドから Wyse Management Suite のライセンスを評価版から実稼働版にアップグレードするには、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーに連絡してください。Wyse Management Suite ライセンスがアップグレードされた後は、デバイスを管理するために、以前と同様の資格情報で管理者として Wyse Management Suite ポータルにログインすることができます。

パブリッククラウドアカウントからプライベートクラウドにライセンスをエクスポートして、プライベートクラウド上のライセンスをアップグレードすることができます。プライベートクラウド上にライセンスをインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

- **ポータル管理サブスクリプション** の順に移動し、**ライセンスのインポート** セクションに詳細を入力して、**インポート** をクリックします。
- **ポータル管理サブスクリプション** の順に移動し、**ライセンスのインポート** セクションにライセンスキーを入力して、**インポート** をクリックします。

詳細については、dell.com/support/manuals で『*Wyse Management Suite 1.3 and later version Administrator's Guide*』（Wyse Management Suite 1.3 以降管理者ガイド）を参照してください。

アンインストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- リモートアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)」を参照してください。
- ローカルアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をローカルでインストールする](#)」を参照してください。

① **メモ:** Wyse Converter for PCs インストール中にインストールされる .NET Framework、Microsoft Visual C++ Redistributable、Windows Management Framework、Citrix Receiver、および VMware Horizon Client は Wyse Converter for PCs のアンインストール時には削除されません。

トピック：

- [Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)
- [Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする](#)

Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする

次のいずれかの方法を使用してリモートで Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- サードパーティの管理ソフトウェアの使用 - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite の使用 - 「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールすることができます。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 [ソフトウェア ライブラリー] > [概要] > [アプリケーション管理] > [アプリケーション] の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 9 **全般** ページで、**展開の種類の情報を手動で指定する** をクリックします。
- 10 **次へ** をクリックします。
- 11 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。

- 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
- 13 **インストールプログラム** フィールドに、WyseConverterForPCs.exe /install /u と入力します。
- 14 **検出方法** ページで、次のオプションを選択します。
 - **設定の種類** ドロップダウンメニューから **レジストリ** を選択します。
 - レジストリキーを hklm\software\wnt と入力します。
 - **値** に Build と入力します。
 - **データタイプ** ドロップダウンメニューから **文字列** を選択します。
 - レジストリルールを設定するには、**レジストリ設定が次の規則を満たす必要がある** をオンにします。
 - **演算子** ドロップダウンメニューから、**次の値と等しい** を選択します。
 - **値** フィールドに、<ビルドバージョン> を入力します。たとえば、9122 と入力します。
- 15 種類およびファイルまたはフォルダ名を指定し、**OK** をクリックします。
- 16 **次へ** をクリックします。
- 17 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
- 18 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
- 19 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
- 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
- 21 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
- 22 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
- 23 **概要** ページに、設定の概要が表示されます。
- 24 **閉じる** をクリックします。
- 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager のコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。

サードパーティの Windows 7 用管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

Microsoft System Center Configuration Manager は、Dell Write Filter を認識しません。Windows 7 デバイスから Wyse Converter for PCs をアンインストールするには、次の操作を行います。

バッチファイルを使用したパッケージの作成

前提条件

- 次のスクリプトを使用して BAT ファイルを作成します。

```
@echo off
```

```
cd C:\program files\Wyse\DellFBWF
```

```
Start dwfmgmr.exe /disable
```

```
Shutdown -r -f -t 0
```

- BAT ファイルをネットワーク上の場所に保存します。

手順

- 1 System Center Configuration Manager コンソールを開き、**ソフトウェアライブラリ > アプリケーション > 管理 > パッケージ** の順に移動します。
- 2 **パッケージ** を右クリックして、**パッケージの作成** をクリックします。
- 3 パッケージに対する次の情報を指定します。

名前 - <ユーザー指定の名前>

説明 - オプション

製造 - オプション

言語 / バージョン - オプション

- a このパッケージはソースファイルを含んでいます にチェックを入れます。
- b .bat ファイルのパスを指定します。

- 4 **次へ** をクリックします。
- 5 **プログラムの種類** を **標準プログラム** に設定し、**次へ** をクリックします。
- 6 次のように、標準プログラムの情報を入力します。
 - 名前 - ユーザー定義
 - コマンドライン - .bat ファイルを参照
 - プログラムが実行可能 - ユーザーがログオンしているかどうかは無関係
- 7 **次へ** をクリックします。
- 8 概要ページで **次へ** をクリックして、**閉じる** をクリックします。
- 9 パッケージを右クリックし、**コンテンツの配布** を選択します。

アプリケーションパッケージの導入

- 1 System Center Configuration Manager コンソールを開き、**ソフトウェアライブラリ > アプリケーション > 管理 > パッケージ** の順に移動します。
- 2 パッケージを右クリックして、**導入** をクリックします。
- 3 必要な情報を入力し、コレクションを提供して **次へ** をクリックします。
- 4 コンテンツの導入先を指定します。
- 5 ソフトウェアの導入を制御する設定を、次のように指定します。
 - アクション - インストール
 - 目的 - 必須
- 6 **次へ** をクリックします。
- 7 **すぐに** を選択して、**次へ** をクリックします。
- 8 ユーザーエクスペリエンスを指定して、**次へ** をクリックします。
- 9 配布ポイントを指定して、**次へ** をクリックします。
- 10 概要ページで **次へ** をクリックして、**閉じる** をクリックします。

SCCM を介してアプリケーションを導入してアンインストールする

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 [**ソフトウェア ライブラリー**] > [**概要**] > [**アプリケーション管理**] > [**アプリケーション**] の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 9 **全般** ページで、**展開の種類の情報を手動で指定する** をクリックします。
- 10 **次へ** をクリックします。

- 11 **全般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
- 13 **インストールプログラム** フィールドに、WyseConverterForPCs.exe /install /u と入力します。
- 14 **検出方法** ページで、次のオプションを選択します。
 - **設定の種類** ドロップダウンメニューから **レジストリ** を選択します。
 - レジストリキーを hklm\software\wnt と入力します。
 - **値** に Build と入力します。
 - **データタイプ** ドロップダウンメニューから **文字列** を選択します。
 - レジストリルールを設定するには、**レジストリ設定が次の規則を満たす必要がある** をオンにします。
 - **演算子** ドロップダウンメニューから、**次の値と等しい** を選択します。
 - **値** フィールドに、<ビルドバージョン> を入力します。たとえば、9122 と入力します。
- 15 **種類** およびファイルまたはフォルダ名を指定し、**OK** をクリックします。
- 16 **次へ** をクリックします。
- 17 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
- 18 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
- 19 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
- 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
- 21 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
- 22 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
- 23 **概要** ページに、設定の概要が表示されます。
- 24 **閉じる** をクリックします。
- 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager」(Configuration Manager のコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 **アプリとデータ** をクリックします。
- 3 **アプリポリシー** 下で **Wyse Software Thin Client** をクリックします。
- 4 **ポリシーの追加** をクリックします。

標準アプリポリシーの追加 ウィンドウが表示されます。
- 5 **標準アプリポリシーの追加** ウィンドウで、次の操作を行います。
 - **グループ** ドロップダウンメニューから、Wyse Software Thin Client の登録先のグループを選択します。
 - **タスク** ドロップダウンメニューから、**アプリケーションのアンインストール** を選択します。
 - **OS タイプ** ドロップダウンメニューから、**Wyse Software Thin Client** を選択します。
 - **アプリケーション** ドロップダウンメニューから **WyseConverterForPCs.exe** を選択します。
 - インストールパラメータ /install /u を指定します。
- 6 **保存** をクリックします。
- 7 **ジョブ** ページに移動し、Wyse Converter for PCs のサイレントアンインストールを開始するようにジョブをスケジュールします。

Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする

前提条件

- 書き込みフィルターが無効になっている必要があります (Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ)。
- Wyse Converter for PCs をインストールする前に、使用可能な管理者アカウントから Wyse Converter for PCs をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 **コントロールパネル** に移動し、**プログラムと機能** をクリックします。
- 2 プログラムのリストから、**Wyse Converter for PCs** を選択します。
- 3 **アンインストール** をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 4 **はい** をクリックします。

アンインストールが完了すると、**アンインストールの完了** メッセージが表示されます。

① メモ:

- Wyse Converter for PCs 実行ファイルをダブルクリックして、Wyse Converter for PCs をアンインストールすることもできます。また、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`WyseConverterForPCs.exe /install /u` を入力することもできます。サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。
- Wyse Easy Setup を個別にアンインストールすることはできません。

Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング

このセクションでは、Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング情報を提供します。

表 15. Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング

問題	解決策
インストールが前提条件のチェック中に停止します。	Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件を満たしていることを確認します。「前提条件」を参照してください。ログは、現在のユーザーの一時的な場所（%temp%）で入手できます。
選択したアプリケーションがインストールに失敗する場合に、インストールが停止します。	ログファイル InstallWyseConverter.log または UninstallWyseConverter.log を表示して、詳細なエラーログレポートを確認します。
インストール中にロックダウンスクリプトが失敗します。	詳細なエラーログについて、drive C:/Windows/setup/logs にあるログファイル AppsInstall.log、InstallMon.log、UninstallWyseConverter.log を表示します。
ロックダウンカスタマイズ UI 画面が応答を停止します。	POST 設定 UI が動作を停止した場合は、drive C:/windows/setup/logs にあるインストールログ AppsInstall.log、InstallMon.log、UninstallWyseConverter.log を表示して、進行状況を確認します。UI プロセスは、Windows タスクマネージャ（PS_Config.exe）から停止できます。このプロセスを停止すると自動取り消しがトリガされて、Wyse Converter for PCs がアンインストールされる場合があります。ラッパー UI が応答を停止した場合は、Win+D を押してデスクトップ画面に移動します。
エクスプローラシェルが動作を停止し、Windows 7 でブルースクリーンエラーが発生します。	システムのすべてのデバイスドライバがインストールされていることを確認します。
有効なライセンスを購入した後で、ライセンスの画面が WyseUser デスクトップに表示されません。	Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録していることを確認します。
ロックダウン展開中に自動ログオンが失敗します。	パスワードに \ / ' \ , ~ : ; * ? " & ^ などの特殊文字が含まれていないことを確認します。現在のインストールを続行する場合は、展開ステージで使用されたパスワードを入力します。
アイコンが Wyse Easy Setup シェルのタスクバーに表示されません。	Wyse Easy Setup をインストールする前に、Wyse Device Agent のバージョン 14.0.0.216 以降がインストールされていることを確認します。また、WyseEasySetupHookx86 と WyseEasySetupHookx64 がバックグラウンドで実行されていることを確認します。
Citrix および VMware Horizon View の接続が、デフォルトで 接続とアプリケーション 領域に表示されません。	Citrix と VMware が次のデフォルトパスにインストールされていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Citrix : C:\Program Files (x86)\Citrix\ICA Client\SelfServicePlugin\SelfService.exe - 64 ビットオペレーティングシステム C:\Program Files\Citrix\ICA Client\SelfServicePlugin\SelfService.exe - 32 ビットオペレーティングシステム VMware :

問題	解決策
	<p>C:\Program Files (x86)\VMware\VMware Horizon View Client\vmware-view.exe - 64 ビットオペレーティングシステム</p> <p>C:\Program Files\VMware\VMware Horizon View Client\vmware-view.exe - 32 ビットオペレーティングシステム</p>
適用 をクリックしたときに、管理 UI の設定がすぐに反映されません。	書き込みフィルターを有効にするようにしてください。
Wyse Management Suite または管理 UI を使用してキオスクが設定されている場合に Wyse Easy Setup シェルが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> Wyse Management Suite アプライアンスモードが設定されていないことを確認します。 Wyse Easy Setup のインストール前に WDA ビルド 14.0.0.216 以降がインストールされていることと、C:\Wyse\WDA\plugin\qcplugin.json が使用可能であることを確認します。
Wyse Management Suite から Super Wyse を登録解除した後、VMware ショートカットがパブリックデスクトップから削除されます。	<ul style="list-style-type: none"> スタートメニューから VMware Horizon にアクセスできます。 VMware 接続を設定し、Wyse Management Suite からプッシュすることができます。
設定が WMS サーバからプッシュされたときに、特定の言語でユーザーのデスクトップに Citrix 接続ショートカットが作成されません。	<ul style="list-style-type: none"> スクリプトをプッシュしてそれが動作していることを確認し、全ユーザーに対して C://Users/Public/desktop へのアクセス権を有効にします。 Wyse Management Suite の標準アプリケーション展開方法を使用して、次のスクリプトをバッチファイルとして展開します。 icacls %public%\Desktop /grant Everyone:M Wyse Management Suite を使用してアプリケーションポリシーを展開するには、www.dell.com/support にある『Dell Wyse Management Suite Version 1.3 Administrator's Guide』(Dell Wyse Management Suite Version 1.3 管理者ガイド) を参照してください。
システムバックグラウンドが Wyse Management Suite を使用して設定されている場合に、RDP および VMware アイコンが削除されます。	<p>VMware、RDP、Citrix などの必要な接続詳細をすべて使用して、サーバから設定を展開します。</p> <p>Wyse Management Suite を使用して、VMware、RDP、および Citrix の設定を展開するには、www.dell.com/support にある『Dell Wyse Management Suite Version 1.3 Administrator's Guide』(Dell Wyse Management Suite Version 1.3 管理者ガイド) を参照してください。</p>
Wyse Converter for PCs のインストール後、再起動するたびに Microsoft Security Client メッセージが表示されます。	Windows KB をアップデートします。
Wyse Management Suite を使用して設定したデスクトップの背景が保持されず、再起動するとデフォルトの背景が表示されます。	WCM スプラッシュ画面([設定適用ステータス])が表示されない場合、ログオフしてから再度ログインして、設定を適用してください。
Wyse Management Suite 1.2 および 1.3 で、Windows 10 Enterprise (簡体字中国語版) のクライアントのオペレーティング システム バージョンが不明と表示されます。	Windows (簡体字中国語版) デバイスのグループを作成し、パッケージを展開します。
Citrix Server で [Desktop Viewer] が有効になっていると、XD セッションの Ctrl+F1 が、C-A-B Map キー機能で Ctrl+Alt+Del にリダイレクトされません。	<ol style="list-style-type: none"> Citrix Virtual Apps and Desktops Server で、[Desktop Viewer] を無効にします。詳細については、support.citrix.com にある文書「How to Configure Desktop Viewer」(Desktop Viewer の設定方法) を参照してください。 Citrix Receiver ウィンドウで、ブローカーの FQDN アドレスを、https://CitrixBrokerServerFQDN/citrix/teststore/PNAgent/config.xml に置き換えます。
WyseAdmin としてログインすると、Citrix Receiver をインストールできません。	ローカル管理者としてログインし、Citrix Receiver をインストールしてください。Wyse Management Suite を使用して Citrix Receiver を導入することもできます。

